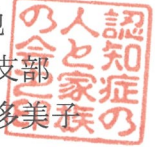


令和 4 年 5 月 24 日

浜田市議会
議長 笹田 卓 様

島根県浜田市竹迫町 2903 番地
認知症の人と家族の会島根県支部
浜田地区会世話人代表 金子多美子



紹介議員

苜 谷 英 夫
柳 楽 真 智 子

世界アルツハイマーデーのマリン大橋ライトアップについての請願

1. 願意

世界アルツハイマーデーの9月21日に合わせて、日本の各地で認知症啓発の為のランドマークのライトアップが行われています。浜田市でも市民の皆様へ認知症に関する理解と周知を進めるため、マリン大橋を9月21日の前後1週間程度の期間、認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジ色でライトアップする取組みを、浜田市の事業として実施していただきますよう請願致します。

2. 理由

認知症の人と家族の会、浜田地区会は平成3年に「呆け老人を抱える家族の会」として発足し、後に「認知症の人と家族の会」と改名しました。平成10年から浜田総合福祉センターで「家族の集い」スタートし、その後場所を変えながら悩みを抱えた方々の相談窓口として月1回の集いを開いてきました。平成24年、認知症施策推進5ヶ年計画「オレンジプラン」に「認知症カフェ」が明示されたことを受け、移行に向け資金や場所・内容等について検討を始め、平成26年1月に赤い羽根共同募金を頂き、「ひだまりふっくら（浜田市新町）」（社会福祉法人いわみ福祉会）の場所を借りて「認知症カフェ」をスタートしました。島根県第一号のスタートとなり「オレンジカフェはまだ」と命名しました。

現在では事業として委託運営として資金を享受し運営しています。第一木曜日は主に認知症機能維持を目的としてのイベントを行い、第三土曜日は家族の集いとして、悩み相談や傾聴することによっての安らぎのひとときを過ごすこととしています。現在では過疎地域の「ミニカフェ」として出張、島根県立大



学の学生ボランティアさんにも参加していただいています。サポート医交流会には令和2年に亡くなられました島田康夫先生にもご来会いただきました。多方面からのご支援をいただき現在に至っています。

9月21日の世界アルツハイマーデーは1994年に国際アルツハイマー病協会（ADI）と世界保健機関（WHO）が共同で制定し、9月を世界アルツハイマー月間と定めて、認知症への正しい理解が進むことを目的として啓発活動を実施しています。認知症の人と家族の会としても世界アルツハイマーデーには大型商業施設等で認知症啓発チラシの配布なども行ってきましたが、コロナ感染症が蔓延した2020年以降は感染症予防のため十分な活動が出来ていません。

ランドマークのライトアップについては2013年に京都タワーが認知症のシンボルカラーであるオレンジ色にライトアップされて以降、全国各地に広がり、県内では松江城、日御碕灯台、グラントワなどで行われています。オレンジ色は認知症サポーターの目印である「オレンジリング」からきています。明るさや苦痛を和らげるという意味が含まれ人々の支え合いを表現した色として使われています。

浜田市の象徴的建造物であるマリン大橋をライトアップすることで「世界アルツハイマーデー」を記念するとともに、市民の皆様にも認知症に対する意識を高め理解していただけるのではないかと推察します。また、令和元年に制定された「浜田市認知症の人にやさしいまちづくり条例」の基本理念にも沿うものと思っております。どうぞこの活動へのご理解をいただき、ご支援下さいますようお願い申し上げます。